NIE実践報告

1．タイトル：書く力をつけるための新聞の活用はどうあればよいか。

2．学校名

宮崎県　宮崎市立　赤江東中学校

3．実践者名（代表者名）

崎山悦子

4．学年

第３学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間

6．単元（本時の学習課題）名

高校一日体験学習の成果を新聞にしよう

7．目標(狙い)

一日体験入学を通して学んだことを新聞のかたちで表現し、より深く進路について考えよう。

8．評価の視点

読み手が理解しやすいように的確な文章表現になっているか。印象に残ったことをどのように表現しているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

進路学習のまとめ・・7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１．講座：新聞が作られるまでと新聞の作り方　　講師：宮崎日日新聞社　読者室員　小川清一郎さん
２．班員と力をあわせて進路新聞を完成させよう　1時間目
・班編成・・一班5人単位
・記事の内容を決定する・・自分の体験した高校についての資料を整理し精選する。
・見出しやリード文を作り、図表やイラストとと組み合わせ、レイアウトを決定する。
・本文の下書きを書く。
・講師の先生と内容を確認し、助言をあおぐ。
・再度文章を推敲し、ていねいな文字で、文字数を考えながら書く。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

〇新聞の構成の仕方がよく分かった。〇読めない漢字が多かったが、辞書で調べるようになった。〇記事にまとめることで、高校のことがよく分かった。

12．成果と課題

生徒たちは、一日体験学習を通して学んだことを記録してはいたが、視点を定めていなかったので、見たことや聞いたことをただ漠然とまとめていたにすぎなかった。そのため、整理する際に、パンフレットを読み返したり、新聞にまとめるときには、その文章をそのまま書き写す生徒が見られた。また、班ごとに新聞を作る作業を通して、文章が苦手な生徒でも自分の担当場所の記事を書いたことで充足感を得ていた。今後は、あらかじめ項目を挙げて記録させたり、新聞の作り方を学習してから取り組むようにしたい。